

音響&映像メディアクリエイイト学科(音響エンタメ研究) 授業科目概要(2024年度)

科目区分	番号	授業科目名	授業科目概要	担当者 (☆主担当)	実務経験	履修 学年	コマ数	授業 時数	単位数	授業 形態
一般科目	1	企業研究2	「就職」というゴールに加え、学生が「キャリア自律」について理解することを目指し、「『自己理解』+『企業・社会研究』⇒『自己強化』⇒『自己表現』というプロセスを螺旋状に回し、「(相手先の仕事)ができる」、「(相手先に)合っている」自分を的確にアピールする力を身につける。	橋野幸男	—	2	16	32	2	講義
	2	英語1	情報化時代における最新の情報は英文記述の資料に頼らざるを得ないことが多い。リーディング能力を高めるため、教材を使用して英文法を学習するとともに、毎時間、テーマに沿ってグループでコミュニケーション練習を行い実用的に英語を活用できるようにする。わからない単語や文章については、Webや辞書などを用いて自分で調べられる力を身につけさせる。	小林昌人	—	2	16	32	2	講義
	3	英語2	英語1で学んだ知識をもとに、テーマを設けて日常場面を想定したコミュニケーションを通じて会話表現を学び、身につける。	小林昌人	—	2	16	32	2	講義
	4	職業とキャリア	職業の選択は人生の中で重要であり、職業の選択に際して知っておかなければならないことが多々ある。当授業では、働く意義、職業選択の考え方から学び、「仕事と職業」「社会人・職業人のモラル」「社会の動向」の3つの大項目を経て、職業人としての心構えを身につける。	伊藤知圭子	—	2	16	32	2	講義
	5	現代倫理	倫理学を基調として現代の青年たちに欠落している面を追及し、「全人教育」に向ける。「生きる」ことの意味を考察させることから、さらに「働く」ことの意味を考えさせる。	齋藤照安	—	1	32	64	4	講義
	6	ビジネス文書技法	あらゆるビジネスシーンに必要なパソコンアプリケーションのワープロ・表計算についての活用技法を学ぶ。また、就職活動におけるメールの作法も身につける。	植田和華	—	1	32	64	4	講義
	7	一般教養	就職活動をする際に最低限必要となる文章理解と数的処理の知能を身につける。	植田和華	—	1	16	32	2	講義
	8	企業研究1	採用側は、自社に貢献する人材を求め、産業経済・社会の変化が急激な現代では、「環境適応力」に優れた人材の価値が高まっているなか、「キャリア自律」について理解をする。	橋野幸男	—	1	16	32	2	講義
	9	サウンド制作実践1	作曲、編曲といった楽曲制作技術とレコーディング技術、編集技術を融合させ、様々な作品作りに取り組む。この制作を通して、技術、知識をより実践的なものへと昇華させることを目指す。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	64	2	実習
	10	サウンド制作実践2	サウンド制作実践1を踏まえ、作曲、編曲といった楽曲制作技術とレコーディング技術、編集技術を融合させ、より質の高い作品作りに取り組む。この制作を通して、技術、知識をより実践的なものへと昇華させることを目指す。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	64	2	実習
	11	レコーディング実践1	1年次に学んだレコーディングの知識、実技を応用し、実際に環境の違いや機材の違いによって、どれだけ録音した音に違いが出るのかを実践していく。また、ミックス、マスタリングの技術向上を目指し、ワンランク上の編集技術、エフェクトの使用方法についても実際に編集をしながら学んでいく。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	64	2	実習
	12	レコーディング実践2	前期に学んだレコーディングの知識、実技を応用し、実際に環境の違いや機材の違いによって、どれだけ録音した音に違いが出るのかを踏まえ、実際にレコーディングを行っていく。また、ミックス、マスタリングの向上した技術を活かし、ランクの高い作品の制作を行い、評価する。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	64	2	実習
	13	PA実践1	1年次に習得したPAの知識や技術を実践的なものへ向上させることを目的とする。日々、環境が変化するPAの仕事として使われている知識や技術を環境の変化に合わせて、学んでいく。会場の大さき、建物の構造から音の伝播の違いを見極め、効率よく、良い音を観客に届ける術を学び、就職後の即戦力となる力を身につける。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	64	2	実習

14	PA実践2	PA実践1で習得したPAの実践的な知識や技術を用いることができることを目標とする。 日々、環境が変化するPAの仕事として使われている知識や技術を環境の変化に合わせて、学んでいく。会場の大ささ、建物の構造から音の伝播の違いを見極め、効率よく、良い音を観客に届ける術を学び、就職後の即戦力となる力を身につける。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	64	2	実習
15	舞台演出技術	コンサートやイベントにおける舞台演出や技術を幅広く知り、舞台芸術への興味を引き出していく。 舞台関連業界への就職に有利な人材を育成、就職後の業務が楽しくなるような知識を身につける。	磯田弘	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	64	2	実習
16	音響工学応用	1年次に学んだ音の現象や機械の内部構造に加えて、今年度は聴覚現象による、音の聴こえ方の違いや、デシベルの概念についてなど、より詳細な内容を学んでいく。 目に見ることができない音をより具体的に把握できることを目指し、実践において活かせる知識を身につけていく。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	64	2	実習
17	イベントプロモーション	イベントの裏側の部分として、企画制作に着目した授業を行う。 イベントを企画制作するにあたり、イベントの種類についてやイベント企画のポイントについて、注意点などの基礎的な部分から勉強を始める。 最終的には、実際にイベントを開催することを想定した企画制作を行い、より実践的な学びとすることを目指す。	五味正太郎	—	2	32	64	2	実習
18	卒業研究	2年間の集大成として、今まで培ってきた知識・技術のさらなるレベルアップを図る。 グループ研究を行うことにより、実社会での人間同士のコミュニケーションの重要性を身につける。	☆五味正太郎 植田和華	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	96	192	6	実習
19	検定対策	企業人にとって必要な、ビジネスの基礎知識とスキル（特に入社1年目までに必要とされる）や、社会人常識を総合的に身に付ける。最終目標として、「ビジネス能力検定3級」、「社会人常識マナー検定3級」の検定取得を目標とし学習する。	植田和華	—	1	32	64	2	演習
20	デジタルデザイン基礎	Photoshop、Illustrator、の操作・デザイン技術を学ぶ。 コンテンツの作成や編集の仕方、現場で使われている技術も織り交ぜながら基礎的な技術の習得を目指す。	佐伯尚久	IT企業、プログラミングスクール教師としての実務経験、WEBデザイナー	1	32	64	2	実習
21	デジタルデザイン応用	Photoshop、Illustrator、の操作・デザイン技術を課題を中心に学ぶ。 課題はポスター、バナーデザイン、ロゴ作成等学生のレベルに合わせて出題	佐伯尚久	IT企業、プログラミングスクール教師としての実務経験、WEBデザイナー	1	32	64	2	実習
22	レコーディング基礎	各パートのレコーディング技法の基本的知識を学び取得する。さらに、セッティング、レコーディングを実際に行えるようにする。	坂本弘樹	総合音楽スタジオでレコーディングエンジニア、PA・音響オペレーターの実務経験	1	32	64	2	実習
23	レコーディング応用	レコーディングで重要なことの1つに、楽曲を正しく理解するためにスコアのアナリゼができることがあがる。スコアが読め、楽曲分析をおこなない、それをレコーディングに活かすことのできる能力を身につける。	坂本弘樹	総合音楽スタジオでレコーディングエンジニア、PA・音響オペレーターの実務経験	1	32	64	2	実習
24	PA基礎	音楽イベントなどの様々な催事を彩り、支えるPA＝音響・照明エンジニアに必要な技術を1からマスターすることを目指す。ミキシングコンソールやパワーアンプ、エフェクター、スピーカー、マイクロフォンなどPAで扱う全ての機材や音の基本を知る。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	32	64	2	実習
25	PA応用	基礎で身につけた知識に加え、実際にミキサーや周辺機器を用いて実習を行っていく。前期で学んだ知識を深めていき、実際の機器の操作技術を身につける。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	32	64	2	実習
26	音楽理論	中学校や高校で学んだ楽典の知識の復習から始め、スケール、コード、コード進行などの音楽の知識を学ぶ。 最終的には作曲（DTM）でこの授業の知識を実践的な作曲技術へとつなげることを目標とする。	廣瀬絵美	—	1	32	64	2	実習
27	音響工学基礎	「音」や「電気」、「機器」などの音響という仕事に関わるものを学ぶ。 環境や状況によって音が如何に変化するかを学ぶことで、仕事につながる知識を学ぶ。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	32	64	4	講義

	28	DTM基礎	パソコンを用いた楽曲制作や編集について学ぶ。 実習を行うことで、DTMの基礎を身に付ける。	深澤正悟	アーティストとして、 音楽プロデューサー、 ディレクター、作曲提 供などの実務経験	1	32	64	4	講義
	29	DTM応用	コピー楽曲の打込みや、オリジナル楽曲の制作を経て、 サウンドクリエイターとして必要な知識、技術を身につ ける。	深澤正悟	アーティストとして、 音楽プロデューサー、 ディレクター、作曲提 供などの実務経験	1	32	64	2	実習
関連 科目	30	ゼミナール	学生自身が考え、ラジオ番組を作ったり、ライブを運営し たりなどを行う。原則、グループで動き、チームで動くこと に必要な知識・技術も身につける。 最終的にはグループごと学内発表の場においてプレゼン をする。また、企業の方の外部評価を受け、ブラッシュ アップを行う。	☆五味正太郎 ☆京谷規秀 植田和華 落合布暁	テレビ番組・CM等映 像の企画制作会社 でのCMディレクターとし ての実務経験・音 響、イベント会社で PA・音響オペレーターと しての実務経験	2	64	128	4	実習
	31	プロゼミ	学生自身が考え、ラジオ番組を作ったり、ライブを運営し たりなどを行う。原則、グループで動き、チームで動くこと に必要な知識・技術も身につける。 最終的にはグループごと学内発表の場においてプレゼン をする。	☆五味正太郎 ☆京谷規秀 植田和華 落合布暁	テレビ番組・CM等映 像の企画制作会社 でのCMディレクターとし ての実務経験・音 響、イベント会社で PA・音響オペレーターと しての実務経験	1	64	128	4	実習
						合計	1,024	2,048	78	
実務経験者合計							768	1536	52	67%